

第1回新静岡県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議 会議録

日 時	令和8年5月21日（木） 14時15分から16時15分まで
場 所	県庁別館9階特別第一会議室
出席者 職・氏名	委 員 会長 朝比奈 一郎（青山社中株式会社筆頭代表 CEO、福井県立大学客員教授） 委員 野末 俊比古（青山学院大学教育人間科学部教授） 委員 林 左和子（静岡文化芸術大学文化政策学部教授） 委員 小久江 暁子（袋井市教育委員会生涯学習課長） 委員 川村 美智（静岡図書館友の会代表） 委員 岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役） 委員 岩田 勝（株式会社谷島屋静岡営業部部长） 委員 伊 夢瑛（静岡大学情報学部助教） 事務局 静岡県教育委員会教育長 前澤 綾子 静岡県教育委員会教育部長 山下 英作 静岡県スポーツ・文化観光部部長代理 川口 茂則 静岡県スポーツ・文化観光部参事（東静岡周辺整備担当） 小澤 和久 静岡県立中央図書館長 渡辺 賢一 静岡県教育委員会社会教育課新図書館企画室長 小須賀 拓也
議 題	新県立中央図書館基本構想の改定
配布資料	<資料> 資料1 静岡県立中央図書館基本構想改定の経緯 資料2 静岡県立中央図書館の現状・課題、基本構想改定のポイント 資料3 意見交換の論点 <別冊資料> ・近年の都道府県立図書館の潮流－背景と現況（岡本委員発表資料） ・書店の現場から見る電子書籍の普及状況（岩田委員資料） ・参考資料集（現構想、関連データ等）

1 内容

- ・基本構想改定の経緯、県立中央図書館の現状・課題 等
- ・事例発表「近年の都道府県立図書館の潮流－背景と現況」
- ・意見交換 (1) 現行図書館を取り巻く課題
(2) 目指す姿、役割

2 委員からの主な意見

(県立図書館の役割、意義)

- ・「県立図書館がやるべきこと」と「静岡県だからできること」を整理し、今の県立図書館の「良さ」を引き継ぐことが重要。
- ・A I の進展の反面、正しい情報を入手する重要性が高まっている。図書を根拠とした情報提供など、図書館に求められている役割は更に重くなっている。

(非来館型サービスの重要性)

- ・東西に広い静岡県では、市町立図書館などを通じた全県に向けた非来館型の図書館サービスの充実が重要。
- ・遠隔者への資料提供期間の縮減や、学校図書館との連携を進めるべき。

(デジタル技術の活用)

- ・A I やデジタルの進展を前提に整備を検討すべき。特に図書館システムは技術進展を見込んで事業者の動向を注視するべき。

(運営形態)

- ・市町立図書館の支援や人材育成の観点から、県立図書館は専門的な司書を継続して配置できる形態が望ましい。

(その他)

- ・将来の図書館利用者である若者のこえを聞くべき。
- ・今の県立図書館の価値を県民に知ってもらうことが重要。
- ・遠方からでも利用したくなる来館者向けサービスを作ることも考えるべき。
- ・東静岡の周辺施設との調和と差別化が必要。

詳細は別紙「第1回新静岡県立中央図書館基本構想改定に係る有識者会議（詳細版）」のとおり。